

ボラ はあと



編集：能美市ボランティア連絡協議会

能美市ボランティア連絡協議会会員研修会

開催日：令和3年9月18日・26日 会場：能美市ふれあいプラザ



1分野（高齢者・障がい者支援）



2分野（芸能・生涯学習関連等・文化）



3分野（環境・子育て支援・国際交流・更生保護・健康・防犯・その他）

1分野【令和3年9月26日（日）】

『桃色のクレヨン』鑑賞

『自閉症の子を持つ親の思い』報告

2分野【令和3年9月26日（日）】

ボランティアグループ『母の会』による絵手紙教室

3分野【令和3年9月18日（土）】

講演『世界と地域が繋がること

～世界はそんなに遠くない～』

講師 清水 和貴子氏（能美市国際交流協会）

2・3
ページ

- ・能美市ボランティア連絡協議会分野別研修会に参加して
- 1分野 手話サークルめだか 西田 悦子
- 2分野 さゆりの会 M・N
- 3分野 能美子ども食堂ネットワーク 嶋田 准也
- ・分野別研修会 参加者の声
- ・withコロナでできること
- 能美市ボランティア連絡協議会会長 中田 紀子

4
ページ

- ・ニューフェイス リレー紹介
- ・学校ボランティア活動紹介
- ・新役員紹介
- ・編集後記

目次

あなたも活動をはじめてみませんか。いつでも **今** がはじまりです。

1 分野（高齢者・障がい者支援）

参加者 33名

◆手話サークルめだか◆ 西田 悦子

1 分野の研修会がありました。

①人権啓発DVD「桃色のクレヨン」の鑑賞

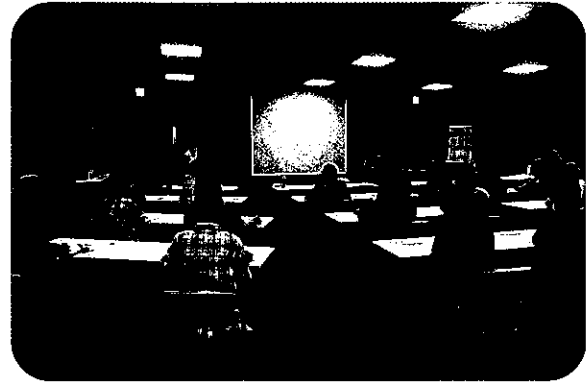
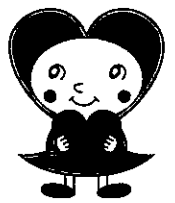
②能美市民生委員・児童委員障がい者福祉部会と第3次能美市地域福祉活動計画ところに寄り添い合う人づくり委員会の令和2年度合同研修会での「自閉症の子を持つ親の思い」についての説明

①②共に障がいへの理解を深める内容でした。自分の思いを決めつけず少しでも知ること理解を深め、あたたかい目と心で見守ることが大切だと感じました。

また、「親愛なる子供たちへ」という手紙も紹介され、これは近い将来の自分の姿だと思い、とても感動し何度も読み返しました。有意義な時間を過ごすことができました。



障がいへの理解を深める良い機会になりました。



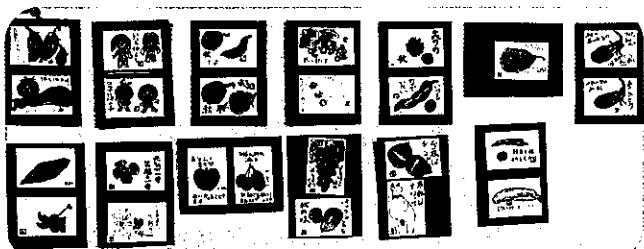
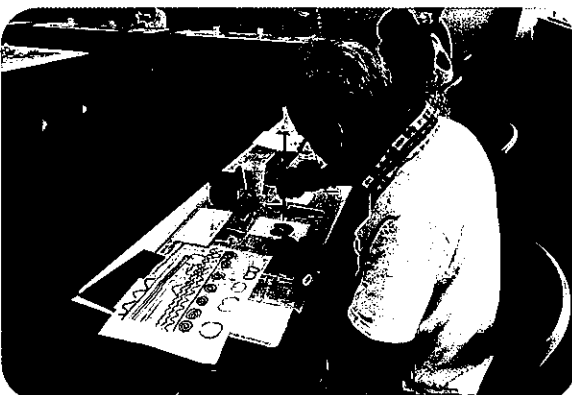
2 分野（芸能・生涯学習関連等・文化）

参加者 21名

◆さゆりの会◆ M・N

今回の研修会は絵手紙教室。見なれた物も絵に描くとなると「むずかしい・・・」「どこから描いたらいいの？」思い通りに描けなくて悪戦苦闘。それでも「毎の会」の先生のアドバイスやまわりの人たちに励まされてなんとか完成。出来上がった作品は、どの方のも個性が出て素敵なものでした。あっという間の1時間半でしたが、みんなと同じ事をする楽しさを久しぶりに感じて、1日も早くボランティア活動ができる日が来ることを願いました。

素敵な時間をありがとうございました。さあ、この絵手紙、誰に送ろうかな？



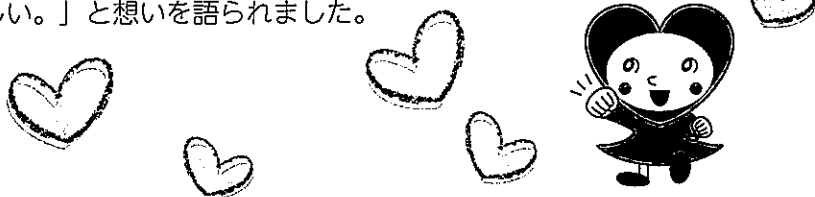
3分野（環境・子育て支援・国際交流・更生保護・健康・防犯・その他）

参加者 25名

◆能美子ども食堂ネットワーク◆ 嶋田 准也

「世界と地域が繋がること～世界はそんなに遠くない～」と題し、能美市国際交流協会の清水和貴子さんが講演を行いました。

清水さんはJICA（独立行政法人国際協力機構）時代のブータン王国との交流・支援や、国際交流協会の活動についてお話されました。「外国の方が市内で生活する中、良い思い出を持ってもらうことが日本に良いイメージを持つことになる。私達一人ひとりが草の根の外交官です。そして国籍・人種を越えて、能美市民として生活・活躍できるようになってほしい。」と想いを語られました。



分野別研修会 参加者の声

1分野

・「桃色のクレヨン」を観て、自然に障がいのある方に配慮できるようになりたいと思いました。なかなかできない自分を反省しました。
・誰もがもっと住みやすい地域にしたいと思った。微力ながらも、自分なりにできることを考えたい。
・とても素晴らしい研修会でした。「桃色のクレヨン」と栗山さんの思いに感動しました。手紙「親愛なる子供たちへ」中田さんの朗読に両親を思い、とても心にじみました。

2分野

・SNSの時代だからこそ、手書き、心に響く「絵・言葉」の大切さを学びました。
・多くは会話できませんでしたが、久しぶりの会合で楽しいひとときでした。
・初めて参加しました。とても楽しく過ごせました。
・絵心が全く無く、不安ではあったのですが、講師の方が親切でやさしく教えてくれたので、何とかが描けました。

3分野

・国際交流とは「お互いさまの心」、「幸せを分かち合うこと」と知り、決して難しいことではなく、身近にできることから始めて行きたいと思いました。
・外国の方の困り事に協力できたらと思っていました。交流サロンに行って、知ることから始めようと思いました。
・外国との交流を新鮮な感じで聞きました。ブータンでは国民の90%が幸せと思っているとのこと、これからの私達にも心の豊かさが大事なことであったと思いました。

～withコロナでできること～

能美市ボランティア連絡協議会

会長 中田 紀子



今年度、2人の新役員を迎えて、最初の役員会の議題は「能美市ボランティアフェスティバルの開催について」でした。そこで、市内103団体についてアンケートを実施し、60団体から回答がありました。コロナ禍で例年通りに開催は難しいことを承知の上で、「工夫してできる事!」を模索するご意見も多く寄せて頂きました。例えば、「パネル展示だけでも実施したい」「リモートで情報発信する方法なら協力できる」等々。残念ながら今年度も開催は叶いませんでしたが、みなさんが感染防止対策を心掛けながら、日々活動なさっている姿が目に見えます。「できない」ではなく「何かできる事からやろう!」を探して、またいつか、笑顔いっぱい集える日を願っています。



ニューフェイスリレー紹介



◆かが能美掃除に学ぶ会

代表 山口 健次



平成17年から毎月主に第2日曜日の朝2時間、会員20名の皆さんと「心を磨くトイレ掃除」を合言葉に学校のトイレ掃除をしています。

中学校は生徒のみなさんと一緒に行いますが、始めと終わりではみんな表情が変わり充実感につつまれます。普段は目に見える結果にとらわれがちですが、感想文から「感謝の気持ち」「ものを大切にする」「真剣に取り組んだ達成感など」目に見えない本当に大切なことに気がつく良い機会となるようです。参加した生徒さんが、この貴重な経験を自分の人生に活かして頂ければ会員一同これ程嬉しいことはありません。

本年度の活動はコロナ禍で止む無く休止中ですが、御賛同頂ける方の参加を何時でも大歓迎。ご連絡をお待ちしています。

学校ボランティア活動紹介

宮竹小学校5年 小泉 勇陽さん
宮下 ゆづきさん
後藤 胡桃さん

今年3月、当時4年生だった児童は総合学習で福祉体験授業を受け、視覚障がい者のうち全盲の人は1割弱でそれ以外の視覚障がい者は光や色をほんの少し認識でき、その中で黄色が一番判別できる色ということを知りました。

市内には灰色の点字ブロックが多く、間違った点字ブロックだと聞いたため、学校内の点字ブロックを調べたところ階段7カ所が灰色だという事に気が付きました。そこで先生と相談して点字ブロックは黄色のテープで囲むことにしました。テープを貼った後に全クラスを回り、黄色にテープを貼った理由を説明し、大切な意味があるので、はがさないで欲しいと呼びかけました。

現在は児童3人で点字ブロックを囲んだ黄色のテープの点検・貼り替えを行っています。今後はみんなにも意識してもらい全校での取り組みに繋がる活動になってほしいと話しています。

この活動から3人は障がいを持って生活をしていくことは大変なことだとわかり、寄り添う気持ちを持って自分たちに何ができるのか考えていきたいと話してくれました。

取材 近藤 沙夜里



きまっしボランティア

編集後記

分野別研修会にご参加頂いた皆さま、ありがとうございました。久しぶりに皆さんの顔を拝見し元気をもらいました。

今年度もボランティアフェスティバルは開催できませんでしたが、皆さんの活動の糧となるような催しを考えていきます。ご意見、アイデアをお待ちしています！

小西 彰子

新役員紹介

役職名	氏名	所属グループ
会長	中田 紀子	さゆりの会
副会長	近藤沙夜里	のみ♡子育てネットワーク
副会長	小西 彰子	おはなしの会トウインクル
会計	嶋田 准也	能美子ども食堂ネットワーク
理事	栗山よしみ	ほがらか会
理事	田中 玉美	福祉ボランティア チーム20
理事	南 京子	手話サークルめだか
理事	福田 攝子	能美市音訳ボランティアたんぽぽ
理事	南野 一栄	福祉ボランティア かがやき姉妹
理事	坂野 精進	お笑い演芸会
理事	成田 吉雄	辰口中央小学校見守り隊
理事	東出 岳也	ハリコ保存会
監事	國分 谷彦	能美市郷土芸能保存会
監事	中川 美子	エコトライ寺井

